

## 国内自転車生産・輸出入状況（2020年暦年）

### 1. はじめに

このレポートは、我が国の自転車生産及び輸出入状況を総合的に分析することにより、我が国自転車市場の動向を明らかにすることを目的としている。まず経済産業省の生産動態統計を活用し、国内の自転車生産企業の生産状況を把握したうえで、出荷・在庫状況を含めた総合的な生産活動状況について説明し、更に時系列的な推移を示す。続いて、現在わが国の自転車市場においては輸入車が大きな割合を占めているため、財務省貿易統計を用い車種別及び時系列的輸入状況を明らかにし自転車市場の趨勢をつかんだうえで、生産状況と併せて我が国自転車市場の動向を包括的に解説する。最後に、中古車が主体となっている我が国の自転車輸出状況について簡単に言及する。

2020年の生産状況は、総生産金額は前年を上回ったものの、総生産台数は前年を下回った。その総生産金額は過去15年間で最高を記録している。一方、2020年の輸入状況については、前年に比べ総輸入台数は僅かに増加したものの、総輸入金額は前年比で減少を示している。これらの結果、生産台数に輸入台数を加えた2020年の国内向け数量は7,177,558台となり、2年続けてわずかに前年を上回る結果となった。

### 2. 我が国の自転車生産

#### 2-1 2020年の生産状況の概要

経済産業省生産動態統計調査によると、2020年の我が国の完成自転車生産台数は868,589台、完成自転車生産金額は615億7,013万8千円であった。これらを前年と比較すると、総生産台数は1.8%減少し、総生産金額は8.8%増加した。また2020年の完成自転車生産平均単価は70,885円となっており、前年の63,991円から10.8%上昇した。これらの模様を表1に示す。

表1 2020年の我が国自転車生産 前年との比較

	総生産台数	総生産金額(千円)	平均単価(円)
2020年	868,589	61,570,138	70,885
2019年	884,078	56,573,095	63,991
変化	-15,489	4,997,043	6,894
変化%	-1.8%	8.8%	10.8%

出典：経済産業省生産動態統計調査（確定値）

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

2020年の車種別の生産状況を前年と比較したものが表2である。「軽快車」と「その他」の生産台数・金額は前年と比較し減少したが、「電動アシスト車」は台数・金額ともに増加したことが示されている。

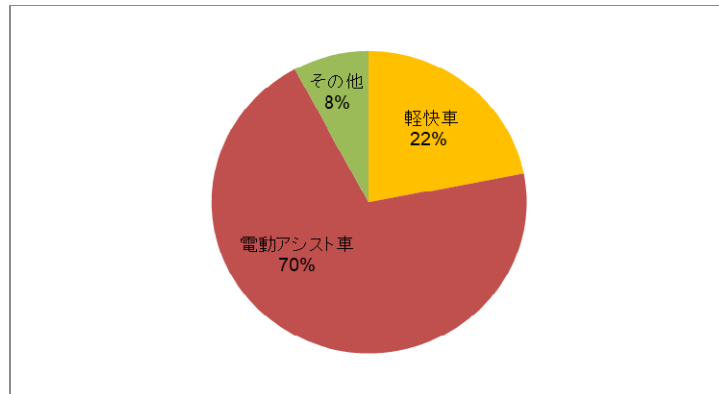
表2 車種別生産状況 2020年と2019年との比較

車種	2020年		2019年		変化			
	台数	金額 (千円)	台数	金額 (千円)	台数	%	金額 (千円)	%
軽快車	190,943	5,240,627	226,743	6,249,062	-35,800	-15.8	-1,008,435	-16.1
電動アシスト車	609,430	54,881,096	574,537	48,465,266	34,893	6.1	6,415,830	13.2
その他	68,216	1,448,415	82,798	1,858,767	-14,582	-17.6	-410,352	-22.1
計	868,589	61,570,138	884,078	56,573,095	-15,489	-1.8	4,997,043	8.8

出典：経済産業省生産動態統計調査（確定値）  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

表2を基に2020年の車種別の生産台数の割合をグラフで示したものが図Aである。「電動アシスト車」が70%を占め、次いで「軽快車」が22%を占めている。

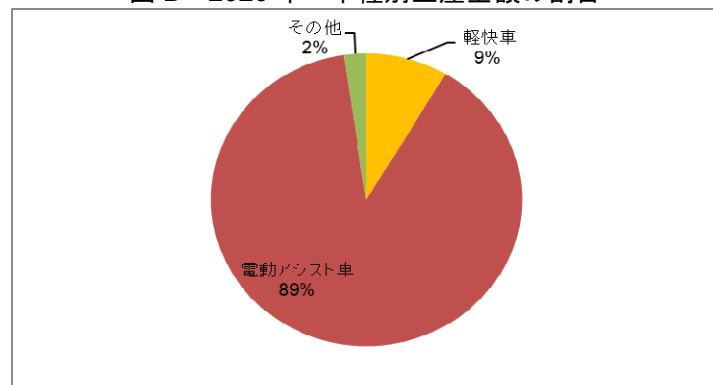
図A 2020年 車種別生産台数の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

また同様に、表2を基に2020年の車種別の生産金額の割合をグラフで示したものが図Bである。「電動アシスト車」が89%を占めている。

図B 2020年 車種別生産金額の割合



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に車種別の生産平均単価について、2020年と2019年とを比較した表3を示す。「電動アシスト車」が上昇した一方で、「軽快車」と「その他」は下落している。

表3 車種別生産平均単価 2020年と2019年との比較

車種	2020年 生産平均単価(円)	2019年 生産平均単価(円)	変化(円)	変化(%)
軽快車	27,446	27,560	-114	-0.4
電動アシスト車	90,053	84,355	5,698	6.8
その他	21,233	22,449	-1,217	-5.4
計	70,885	63,991	6,894	10.8

出典：経済産業省生産動態統計調査（確定値）  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

月毎の「電動アシスト車」の生産台数・金額・平均単価を調べてみると表4の通りとなる。2月・3月は前年同月比の生産台数・金額が減少したが、それ以外の月は増加が示されている。平均単価は12カ月連続で前年同月比上昇した。2020年暦年では生産台数・生産金額・平均単価とも、2019年暦年を上回っている。

表4 「電動アシスト車」の月毎の生産状況 2020年と2019年との比較

	2020年			2019年			生産台数の 変化 (台)	生産金額の 変化 (千円)	平均単 価の変 化(円)
	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)	生産台数 (台)	生産金額 (千円)	平均単価 (円)			
1月	61,066	5,534,393	90,630	45,863	4,143,089	90,336	15,203	1,391,304	293
2月	39,719	3,618,969	91,114	52,657	4,730,903	89,844	-12,938	-1,111,934	1,271
3月	35,967	3,303,444	91,847	59,799	4,950,984	82,794	-23,832	-1,647,540	9,053
4月	59,182	5,073,920	85,734	51,476	4,230,362	82,181	7,706	843,558	3,553
5月	48,076	4,287,363	89,179	46,409	4,017,825	86,574	1,667	269,538	2,605
6月	47,638	4,166,149	87,454	38,373	3,208,779	83,621	9,265	957,370	3,834
7月	49,416	4,486,367	90,788	44,116	3,724,531	84,426	5,300	761,836	6,362
8月	42,251	3,869,888	91,593	38,424	3,265,004	84,973	3,827	604,884	6,620
9月	55,546	5,050,713	90,928	39,868	3,051,821	76,548	15,678	1,998,892	14,380
10月	57,745	5,240,666	90,755	49,906	4,060,130	81,356	7,839	1,180,536	9,400
11月	56,186	5,112,483	90,992	55,132	4,442,608	80,581	1,054	669,875	10,411
12月	56,638	5,136,741	90,694	52,514	4,639,230	88,343	4,124	497,511	2,352
1～12月	609,430	54,881,096	90,053	574,537	48,465,266	84,355	34,893	6,415,830	5,698

出典：経済産業省生産動態統計調査（確定値）  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

## 2-2 我が国自転車生産企業の総合的な生産・出荷・在庫状況

2020年の「生産」「受入」「出荷(販売及びその他)」、そして「月末在庫」も含んだ総合的な生産・販売状況について、前年と比較したものが表5である。

表5 我が国自転車生産企業の生産・出荷・在庫状況  
2020年と2019年との比較

車種	生産		受入 (台)	出荷			12月末在庫 (台)
	台数	金額(千円)		販売		その他 (台)	
				台数	金額(千円)		
2020年 軽快車	190,943	5,240,627	501,813	554,120	9,374,978	145,458	45,535
2019年 軽快車	226,743	6,249,062	572,169	602,778	9,595,865	195,021	52,596
変化 %	-15.8	-16.1	-12.3	-8.1	-2.3	-25.4	-13.4
2020年 電動アシスト車	609,430	54,881,096	405,998	737,738	61,815,610	271,108	61,669
2019年 電動アシスト車	574,537	48,465,266	441,130	698,227	57,935,278	330,678	55,087
変化 %	6.1	13.2	-8.0	5.7	6.7	-18.0	11.9
2020年 その他	68,216	1,448,415	283,767	334,489	5,914,763	15,831	52,266
2019年 その他	82,798	1,858,767	275,022	326,317	5,763,293	24,060	50,960
変化 %	-17.6	-22.1	3.2	2.5	2.6	-34.2	2.6
2020年 全車種計	868,589	61,570,138	1,191,578	1,626,347	77,105,351	432,397	159,470
2019年 全車種計	884,078	56,573,095	1,288,321	1,627,322	73,294,436	549,759	158,643
変化 %	-1.8	8.8	-7.5	-0.1	5.2	-21.3	0.5

出典：経済産業省生産動態統計調査（確定値）  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

「受入」台数についてみると、2020年の全車種の「受入」台数は2019年の「受入」台数に比べ7.5%減少した。「軽快車」と「電動アシスト車」が減少した一方で、「その他」が増加した。

次に「出荷・販売」台数についてみると、2020年の全車種の「出荷・販売」台数は2019年のそれに比べ0.1%減少した。「軽快車」が減少した一方で、「電動アシスト車」と「その他」が増加した。

「出荷・販売」金額については、全車種の「出荷・販売」金額は5.2%増加した。「軽快車」が減少した一方で、「電動アシスト車」と「その他」は増加した。

2020年の全車種の「出荷・その他」台数は、2019年のそれに比べ21.3%減少した。すべての車種で減少が示されている。尚、「出荷・その他」とは受託生産品を委託生産業者へ出荷する等したものである。

「月末在庫」については、2020年12月の全車種の「月末在庫」台数は159,470台で、2019年12月と比べ0.5%増加した。

### 2-3 生産状況の過去15年間の推移

表6に2006年から2020年まで過去15年間の我が国の自転車生産、出荷及び12月末在庫台数の推移を示す。

表6 我が国自転車生産企業の自転車生産・出荷  
及び12月末在庫の過去15年間の推移

	生産			出荷			12月末在庫 台数(台)
	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	台数(台)	金額*	平均単価 (円)	
2020年	868,589	61,570,138	70,885	1,626,347	77,105,351	47,410	159,470
2019年	884,078	56,573,095	63,991	1,627,322	73,294,436	45,040	158,643
2018年	859,850	54,033,271	62,840	1,544,624	69,456,502	44,967	163,325
2017年	890,850	55,864,775	62,710	1,619,326	67,982,491	41,982	149,819
2016年	939,025	53,493,706	56,967	1,619,165	59,984,751	37,047	156,850
2015年	898,095	46,649,982	51,943	1,581,409	53,794,112	34,017	143,061
2014年	951,548	47,111	49,510	1,692,522	53,465	31,589	156,625
2013年	965,954	42,901	44,413	1,845,784	53,488	28,978	214,539
2012年	1,012,314	40,281	39,791	2,662,605	59,321	22,279	231,240
2011年	1,101,666	42,786	38,838	3,012,322	65,969	21,900	241,321
2010年	1,056,951	36,956	34,965	3,038,180	58,087	19,119	208,140
2009年	1,049,469	34,435	32,812	3,098,458	56,256	18,156	219,329
2008年	1,094,932	28,846	26,345	3,503,464	53,463	15,260	215,790
2007年	1,135,606	25,205	22,195	3,616,043	47,819	13,224	211,533
2006年	1,334,512	25,614	19,194	3,924,321	47,485	12,100	214,826

出典：経済産業省生産動態統計調査（確定値）

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

\*2014年以前は百万円単位、2015年以降は千円単位

2020年の「生産台数」は、過去15年間で14番目となっている。一方、「生産金額」は過去15年間で最高となっている。これらの事から「生産平均単価」は過去15年間で最高である。また2020年の「出荷台数」は過去15年間で11番目である。「出荷金額」は過去15年間で最高であった。やはりこれらの事から「出荷平均単価」は過去15年間で最高となっている。また「生産平均単価」と「出荷平均単価」とを比べると「生産平均単価」の方が15年間一貫して高くなっている。2020年の「12月末在庫台数」は159,470台で、過去15年間で10番目となっている。

表6を基に2006年から2020年までの過去15年間の生産台数の推移をグラフで示したものが図Cである。生産台数は低迷している。

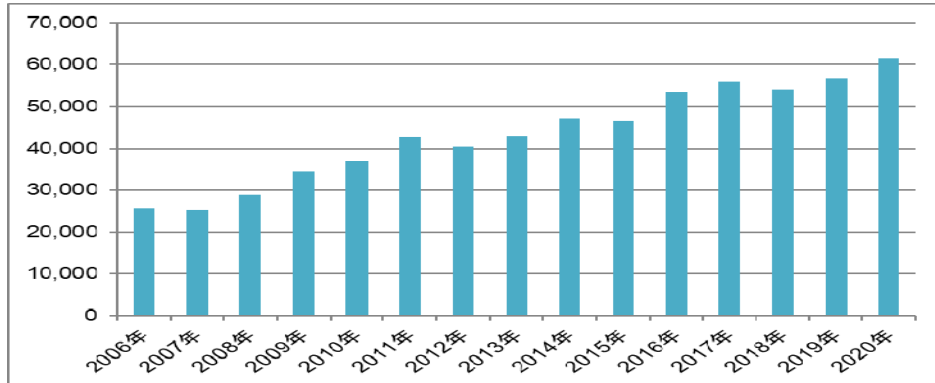
図C 我が国自転車生産台数の過去15年間の推移(単位：台)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に、表 6 を基に 2006 年から 2020 年までの過去 15 年間の生産金額の推移をグラフで示したものが図 D である。生産金額は増加基調にある。

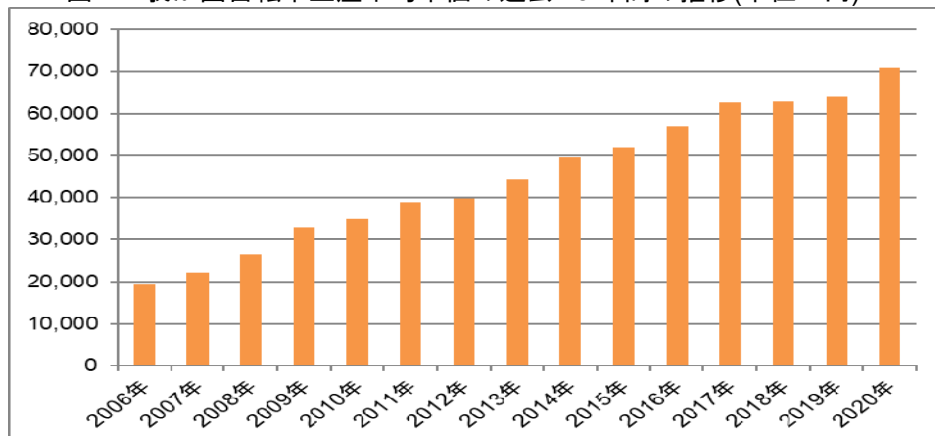
図 D 我が国自転車生産金額の過去 15 年間の推移(単位：百万円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に、表 6 を基に 2006 年から 2020 年までの過去 15 年間の生産平均単価の推移をグラフで示したものが図 E である。生産平均単価もやはり上昇傾向にある。

図 E 我が国自転車生産平均単価の過去 15 年間の推移(単位：円)



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に、月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移を表 7 に示す。

表7 月毎の総生産台数の過去15年間の推移（単位：台）

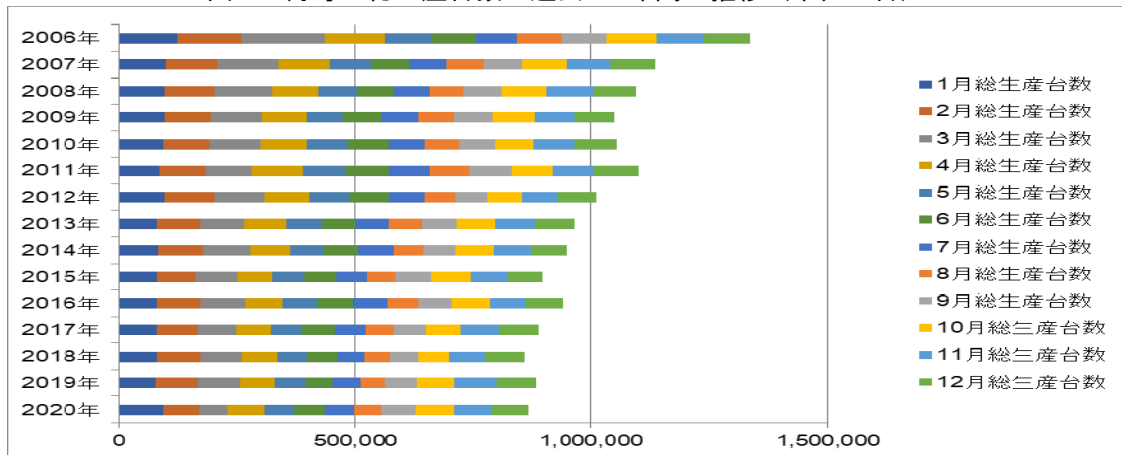
年	1月総生産台数	2月総生産台数	3月総生産台数	4月総生産台数	5月総生産台数	6月総生産台数
2020年	94,071	73,867	61,428	79,748	61,642	63,727
2019年	76,009	91,011	89,091	74,447	65,676	55,254
2018年	78,463	93,312	85,972	76,189	65,486	63,636
2017年	79,215	86,276	82,628	74,710	63,706	68,896
2016年	82,586	88,069	94,670	81,062	72,186	78,781
2015年	78,891	81,242	89,722	75,857	66,218	68,133
2014年	84,512	93,408	100,416	83,216	72,121	74,255
2013年	79,022	92,667	93,062	88,877	75,906	71,711
2012年	96,874	105,350	106,202	95,001	85,528	83,915
2011年	86,445	98,081	98,935	107,181	90,542	92,009
2010年	93,923	99,424	106,524	98,097	87,516	86,269
2009年	96,944	99,314	106,639	94,506	76,287	80,900
2008年	97,728	104,912	121,903	96,456	82,921	78,520
2007年	99,537	108,413	130,721	108,017	86,039	81,714
2006年	124,909	133,470	177,599	128,017	97,944	93,522

年	7月総生産台数	8月総生産台数	9月総生産台数	10月総生産台数	11月総生産台数	12月総生産台数	総生産台数
2020年	64,629	55,052	74,051	81,832	78,681	79,861	868,589
2019年	60,227	54,286	64,805	80,110	89,150	84,012	884,078
2018年	57,921	53,703	58,999	65,885	77,279	83,005	859,850
2017年	66,260	60,279	67,975	74,071	81,506	85,328	890,850
2016年	71,533	64,278	71,472	82,749	76,539	75,100	939,025
2015年	64,647	62,481	74,354	82,311	79,144	75,095	898,095
2014年	74,981	62,167	68,705	81,603	78,727	77,437	951,548
2013年	72,325	66,889	74,392	82,781	84,937	83,385	965,954
2012年	74,820	65,045	68,721	73,476	73,695	83,687	1,012,314
2011年	83,200	86,553	88,460	86,528	87,020	96,712	1,101,666
2010年	75,897	72,056	77,555	82,694	86,498	90,498	1,056,951
2009年	80,068	76,206	81,360	88,312	85,103	83,830	1,049,469
2008年	76,552	70,488	80,661	95,816	98,763	90,212	1,094,932
2007年	79,147	79,509	81,679	91,745	93,341	95,744	1,135,606
2006年	87,738	94,248	94,359	105,347	99,636	97,723	1,334,512

出典：経済産業省生産動態統計調査（確定値）  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表7の月毎の総生産台数の過去15年間の推移をグラフにより示したものが図Fである。各月、比較的均等に生産が行われている様子がわかる。

図 F 月毎の総生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)



出典: 経済産業省生産動態統計調査、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

更に車種別の生産台数の過去 15 年間の推移を表 8 に示す。

表 8 車種別生産台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)

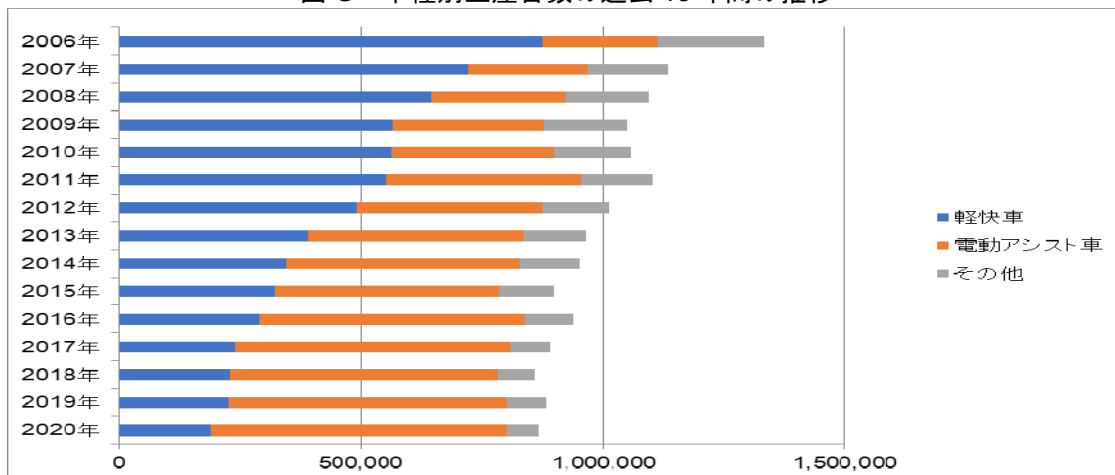
年	軽快車	電動アシスト車	その他	計
2020年	190,943	609,430	68,216	868,589
2019年	226,743	574,537	82,798	884,078
2018年	230,049	551,920	77,881	859,850
2017年	239,837	568,025	82,988	890,850
2016年	291,545	547,593	99,887	939,025
2015年	320,461	464,800	112,834	898,095
2014年	345,825	479,404	126,319	951,548
2013年	392,297	443,782	129,875	965,954
2012年	492,463	383,196	136,655	1,012,314
2011年	553,185	403,208	145,273	1,101,666
2010年	562,515	335,576	158,860	1,056,951
2009年	566,983	311,337	171,149	1,049,469
2008年	647,300	274,475	173,157	1,094,932
2007年	719,554	247,899	168,153	1,135,606
2006年	876,094	236,494	221,924	1,334,512

2011年から従来の「子供車及び幼児車」、「ミニサイクル」、「マウンテンバイク」、「特殊車」を統合し、「その他」と名称変更。2006年から2010年までの「その他」の数値は、これら4区分の合計数値。  
出典: 経済産業省生産動態統計調査(確定値)、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

表 8 に示した車種別の生産台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 G である。「軽快車」が減少し「電動アシスト車」が増加している模様が示されている。



図 G 車種別生産台数の過去 15 年間の推移



出典：経済産業省生産動態統計調査、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3. 我が国の自転車輸入

以下に輸入状況を示していくが、我が国の輸入における関税番号及び車種については次の通り分類されている。尚、電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、輸入電動アシスト車はこの中に含まれている。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

表 9 輸入における車種区分 関税番号

関税番号／品名区分	車 種
8712.00100 マウンテンバイク	・ MTB(V ブレーキ・Disk ブレーキ装着車を含む) ・ クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ ミニサイクル ・ 小径折りたたみ車 ・ BMX
8712.00218 幼児車	・ 幼児車(12～16 吋) ・ 乗用玩具(12 吋二輪車) ・ 一輪車(12～16 吋)
8712.00219 子供車	・ 子供車(18～24 吋) ・ Jr.MTB(18～24 吋) ・ 一輪車(18～24 吋)
8712.00291 軽快車	・ 軽快車(外装変速機付は含まない) ・ シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・ スポーツ車 ・ 外装変速機付軽快車 ・ Jr.MTB(26 吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・ 電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-1 2020年の輸入状況の概要

表10は、2020年の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入について、前年と比較しながら示したものである。総台数は6,308,969台となり前年から1.1%増加した。一方、総CIF金額は690億7,940万2千円となり前年比3.8%減少した。これらの結果、平均CIF単価は10,949円となり前年比4.9%下落している。

尚、この間のドル円為替レートを見ると、2020年暦年の平均レートはUS1\$=JPY106.98であったのに対し、2019年暦年の平均レートはUS1\$=JPY109.08(ともに税関長公示レートを参考にした)であった。

表10 2020年の我が国の自転車輸入 2019年との比較  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
2020年	6,308,969	69,079,402	10,949
2019年	6,239,721	71,817,668	11,510
変化	69,248	-2,738,266	-560
変化%	1.1	-3.8	-4.9

出典：財務省貿易統計(2019年数値は確定値、2020年数値は確々報値)、

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

参考まで2020年の我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入の様態を附表に示した。台数・金額ともに前年比増加している。平均単価も前年比上昇したものの、その上昇幅は台数・金額の増加幅に比べ小さくなっている。

表10附表 参考 2020年の我が国の  
「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入  
2019年との比較

	総台数(台)	総CIF金額(千円)	平均CIF単価(円)
2020年	492,468	18,714,000	38,000
2019年	383,595	14,058,499	36,649
変化	108,873	4,655,501	1,351
変化%	28.4	33.1	3.7

出典：財務省貿易統計(2019年数値は確定値、2020年数値は確々報値)、

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

### 3-2 2020年の車種別輸入状況

表11は2020年の我が国の自転車輸入に関し、車種別の状況を示したものである。

表 1 1 2020 年 我が国の車種別自転車輸入

関税番号及び車種	総台数(台)	総 CIF 金額(千円)	平均 CIF 単価(円)
8712.00100 マウンテンバイク	165,124	2,654,834	16,078
8712.00211 ミニサイクル	319,141	3,607,062	11,302
8712.00218 幼児車	558,930	3,885,351	6,951
8712.00219 子供車	1,558,542	13,332,912	8,555
8712.00291 軽快車	1,447,190	13,762,466	9,510
8712.00299 その他	2,260,042	31,836,777	14,087
計	6,308,969	69,079,402	10,949

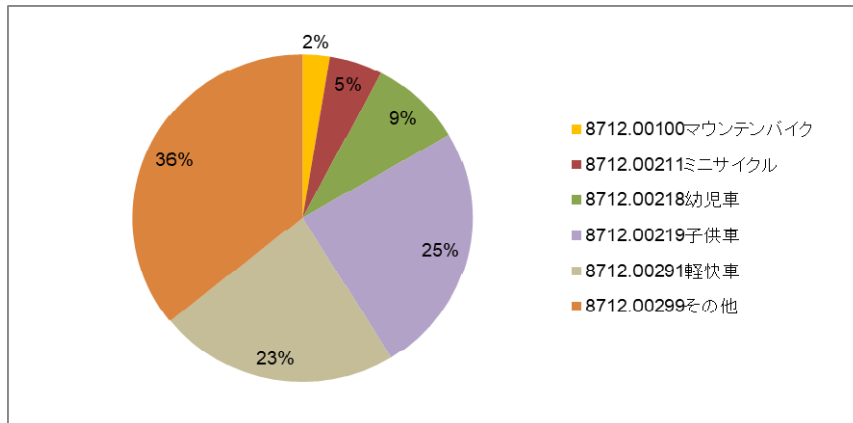
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	492,468	18,714,000	38,000
------------------------------------	---------	------------	--------

出典：財務省貿易統計(確々報値)、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

8712.00100 に分類される「マウンテンバイク」は、平均 CIF 単価が 16,078 円と「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除き最も高くなっている。8712.00219 に分類される「子供車」は、スポーツ車や外装変速機付軽快車等が含まれる 8712.00299 「その他」に次いで台数が多くなっている。平均 CIF 単価は 8,555 円である。その 8712.00299 「その他」は、台数が最も多いほか、総 CIF 金額も各輸入車種区分の中で最も多くなっている。平均 CIF 単価は 14,087 円である。

表 1 1 を基に、2020 年の我が国自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 H である。「その他」が 36%、「子供車」が 25%を占めている。

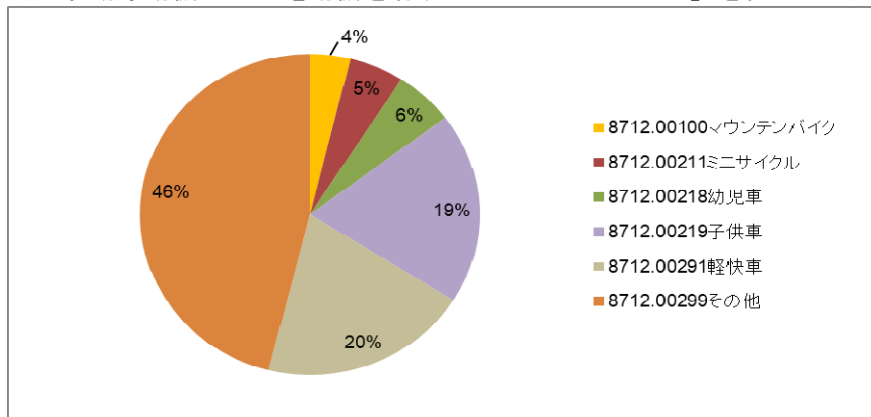
図 H 2020 年の我が国自転車輸入 車種別台数割合  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 1 を基に、2020 年の我が国自転車輸入について車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 I である。「その他」が 46%、「軽快車」が 20%を占めている。

図1 2020年の我が国自転車輸入 車種別 CIF 金額の割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表12は2020年の我が国の車種別自転車輸入について前年と比較しながら示したものである。「ミニサイクル」「幼児車」は、台数及び金額ともに増加していることが示されている一方で、「マウンテンバイク」「子供車」「その他」は、台数は増加したものの金額は減少している。また「軽快車」は台数及び金額ともに減少している。

表12 我が国の車種別自転車輸入 2020年と2019年との比較

車種	2020年		2019年		変化%	
	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額(千円)	台数	CIF金額
8712.00100 マウンテンバイク	165,124	2,654,834	160,977	2,755,409	2.6%	-3.7%
8712.00211 ミニサイクル	319,141	3,607,062	273,416	3,421,303	16.7%	5.4%
8712.00218 幼児車	558,930	3,885,351	405,711	2,951,477	37.8%	31.6%
8712.00219 子供車	1,558,542	13,332,912	1,510,586	13,515,879	3.2%	-1.4%
8712.00291 軽快車	1,447,190	13,762,466	1,670,668	15,801,881	-13.4%	-12.9%
8712.00299 その他	2,260,042	31,836,777	2,218,363	33,371,719	1.9%	-4.6%
計	6,308,969	69,079,402	6,239,721	71,817,668	1.1%	-3.8%
平均単価(円)		10,949		11,510		-4.9%

8711.60000 駆動原動機として 電動機を有する モーターサイクル	492,468	18,714,000	383,595	14,058,499	28.4%	33.1%
平均単価(円)		38,000		36,649		3.7%

出典：財務省貿易統計(2019年数値は確定値、2020年数値は確々報値)、  
 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-3 輸入状況の過去15年間の推移

表13は我が国の自転車輸入の過去15年間の推移を示したものである。

表 1 3 我が国の自転車輸入の過去 15 年間の推移 全車種  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

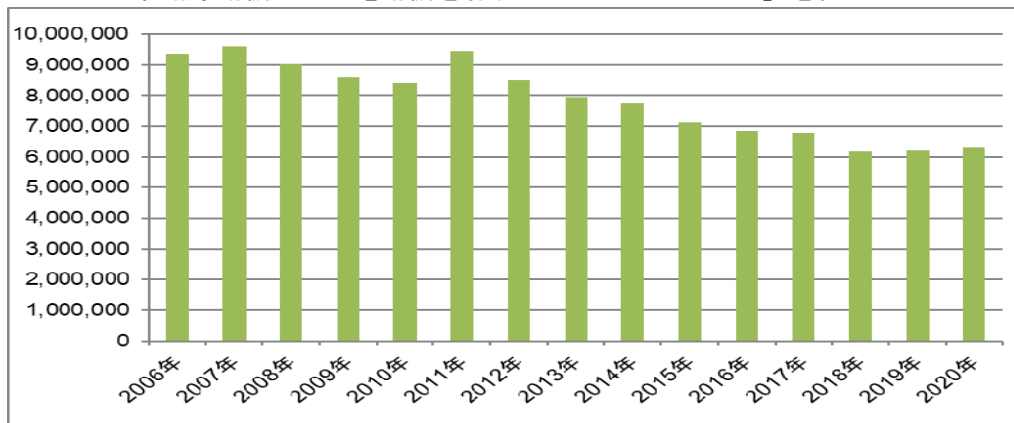
年	総輸入台数	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価(円)
2020 年	6,308,969	69,079,402	10,949
2019 年	6,239,721	71,817,668	11,510
2018 年	6,182,082	73,955,914	11,963
2017 年	6,777,799	75,706,866	11,170
2016 年	6,849,387	76,545,161	11,175
2015 年	7,122,444	93,348,703	13,106
2014 年	7,734,364	86,330,265	11,162
2013 年	7,932,395	80,110,588	10,099
2012 年	8,499,444	72,777,306	8,563
2011 年	9,450,592	74,541,580	7,888
2010 年	8,401,946	64,891,050	7,723
2009 年	8,621,717	70,434,052	8,169
2008 年	9,033,773	78,142,462	8,650
2007 年	9,603,314	74,875,361	7,797
2006 年	9,339,172	65,768,000	7,042

出典：財務省貿易統計(2019 年以前の数値は確定値、2020 年数値は確々報値)、  
 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

2020 年の総輸入台数は、過去 15 年間で 13 番目である。また、2020 年の総 CIF 金額も過去 15 年間で 13 番目である。平均 CIF 単価は 10,949 円で、過去 15 年間で 7 番目となっている。

表 1 3 を基に 2006 年から 2020 年までの過去 15 年間の輸入総台数の推移をグラフにより示したものが図 J である。

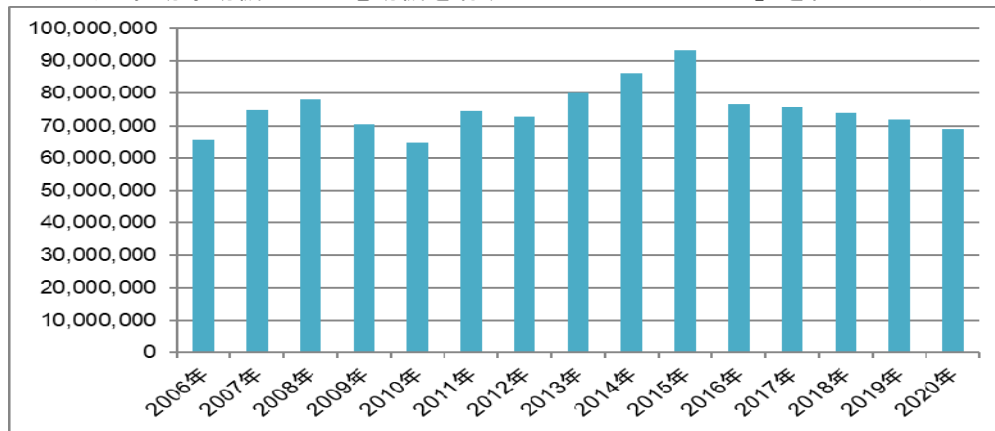
図 J 我が国自転車輸入総台数の過去 15 年間の推移(単位：台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 1 3 を基に 2006 年から 2020 年までの過去 15 年間の輸入総 CIF 金額の推移をグラフにより示したものが図 K である。

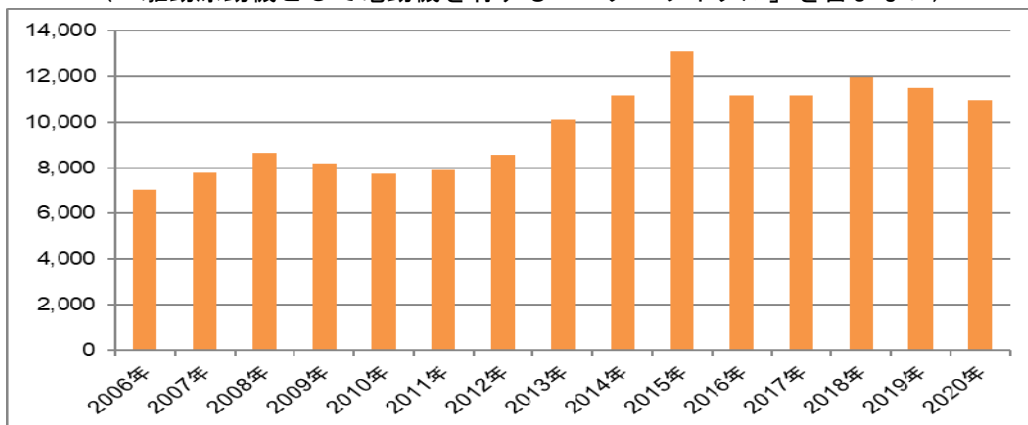
図 K 我が国自転車輸入総 CIF 金額の過去 15 年間の推移(単位：千円)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 1 3 を基に 2006 年から 2020 年までの過去 15 年間の輸入平均 CIF 単価の推移をグラフにより示したものが図 L ある。

図 L 我が国自転車輸入平均 CIF 単価の過去 15 年間の推移(単位：円)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に月毎の輸入台数の過去 15 年間の推移を示したものが表 1 4 である。

表 1 4 月毎の総輸入台数（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」  
を含まない）の過去 15 年間の推移（単位：台）

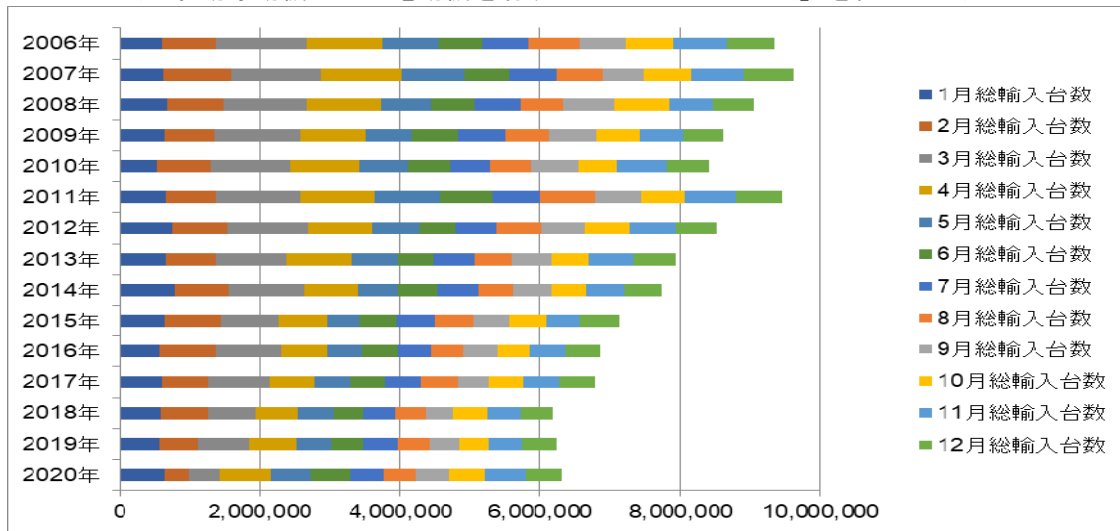
年	1月総輸入 台数	2月総輸入 台数	3月総輸入 台数	4月総輸入 台数	5月総輸入 台数	6月総輸入 台数
2020年	631,508	352,782	456,381	724,752	568,495	549,837
2019年	561,860	557,809	720,388	674,931	511,046	445,684
2018年	584,582	672,121	684,815	588,526	515,094	434,024
2017年	608,232	654,624	889,358	634,082	499,298	505,257
2016年	559,379	823,009	916,762	673,000	493,419	507,531
2015年	639,107	809,453	828,696	690,064	462,606	510,639
2014年	800,012	758,904	1,067,576	783,049	546,090	581,432
2013年	646,439	729,345	997,586	949,665	634,542	514,285
2012年	759,838	779,645	1,156,072	904,565	672,252	525,908
2011年	661,234	725,936	1,192,986	1,067,890	915,243	768,659
2010年	529,116	759,113	1,140,340	1,002,806	691,515	600,223
2009年	631,533	717,828	1,226,863	932,220	660,802	652,693
2008年	679,048	809,921	1,195,076	1,041,042	718,439	623,626
2007年	613,892	988,006	1,275,167	1,152,734	890,124	644,144
2006年	602,545	765,063	1,303,124	1,075,231	796,610	633,795

年	7月総輸 入台数	8月総輸 入台数	9月総輸 入台数	10月総輸 入台数	11月総輸 入台数	12月総輸 入台数	総輸入台数
2020年	474,885	472,736	476,449	503,817	581,859	515,468	6,308,969
2019年	495,750	448,777	430,860	411,708	482,627	498,281	6,239,721
2018年	452,637	430,168	393,334	481,847	479,022	465,912	6,182,082
2017年	511,094	522,474	454,877	480,920	514,237	503,346	6,777,799
2016年	460,740	464,093	509,475	438,628	518,622	484,729	6,849,387
2015年	556,279	542,763	524,133	519,919	484,170	554,615	7,122,444
2014年	572,129	504,218	543,409	502,832	540,165	534,548	7,734,364
2013年	595,336	535,046	561,806	528,767	640,332	599,246	7,932,395
2012年	586,024	629,284	631,719	642,217	649,625	562,295	8,499,444
2011年	675,783	776,045	655,654	629,958	722,052	659,152	9,450,592
2010年	562,581	582,646	663,734	546,459	719,973	603,440	8,401,946
2009年	685,910	619,872	677,716	623,646	620,796	571,838	8,621,717
2008年	646,395	612,531	729,659	770,349	625,626	582,061	9,033,773
2007年	672,070	649,954	586,098	688,807	741,855	700,463	9,603,314
2006年	643,767	724,797	673,445	684,487	767,415	668,893	9,339,172

出典：財務省貿易統計(2019年以前の数値は確定値、2020年数値は確々報値)、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 1 4 の月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移をグラフにより示したものが図 M である。

図 M 月毎の総輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典: 財務省貿易統計、加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

表 15 は、我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移について示したものである。

表 15 我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移 (単位: 台)  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

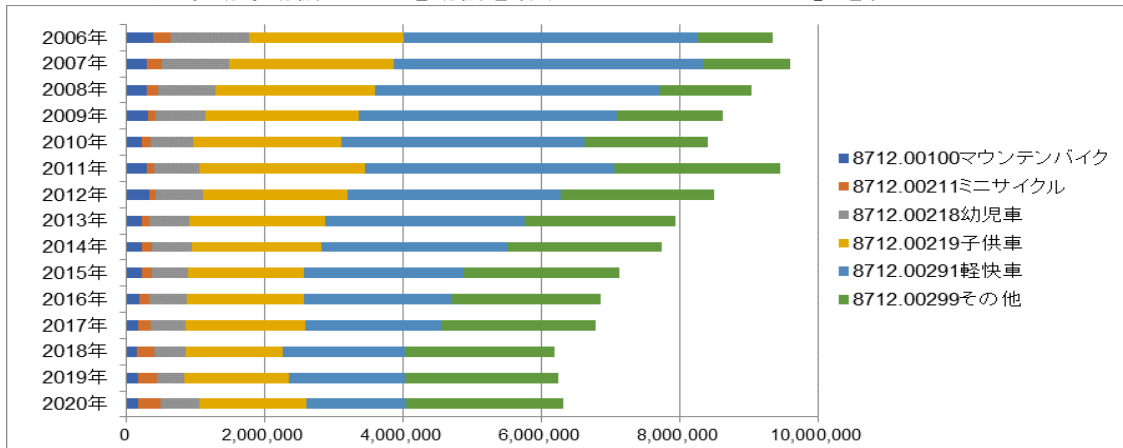
	8712.00100 マウンテン バイク	8712.00211 ミニ サイクル	8712.00218 幼児車	8712.00219 子供車	8712.00291 軽快車	8712.00299 その他	計
2020 年	165,124	319,141	558,930	1,558,542	1,447,190	2,260,042	6,308,969
2019 年	160,977	273,416	405,711	1,510,586	1,670,668	2,218,363	6,239,721
2018 年	155,758	238,234	456,854	1,414,315	1,760,761	2,156,160	6,182,082
2017 年	168,007	186,440	503,297	1,729,446	1,962,119	2,228,490	6,777,799
2016 年	176,823	157,870	538,882	1,690,152	2,129,712	2,155,948	6,849,387
2015 年	219,152	142,150	520,523	1,675,477	2,318,196	2,246,946	7,122,444
2014 年	227,054	130,205	581,229	1,881,428	2,682,510	2,231,938	7,734,364
2013 年	219,848	99,363	585,485	1,966,906	2,881,192	2,179,601	7,932,395
2012 年	325,828	92,405	692,111	2,075,504	3,094,262	2,219,334	8,499,444
2011 年	288,094	110,599	658,735	2,387,853	3,608,216	2,397,095	9,450,592
2010 年	225,716	124,094	613,003	2,133,052	3,526,359	1,779,722	8,401,946
2009 年	300,708	118,241	718,801	2,210,631	3,744,364	1,528,972	8,621,717
2008 年	296,984	157,596	832,968	2,299,371	4,106,823	1,340,031	9,033,773
2007 年	289,270	213,917	986,539	2,368,441	4,481,866	1,263,281	9,603,314
2006 年	376,390	263,380	1,134,179	2,236,065	4,247,509	1,081,649	9,339,172

出典: 財務省貿易統計(2019 年以前の数値は確定値、2020 年数値は確々報値)、  
 加工分析: 一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフで示すと図 N のようになる。



図 N 我が国の車種別自転車輸入台数の過去 15 年間の推移（単位：台）  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

### 3-4 我が国の自転車輸入における主要供給元

2020年の我が国の自転車輸入に関し、その主要供給元を示したものが表16である。

表 16 2020年の我が国の完成自転車輸入 主要供給元  
（「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）

供給元	台数	輸入総台数に占める割合(%)	CIF 金額 (千円)	輸入総金額に占める割合(%)	平均 CIF 単価(円)
中華人民共和国	6,208,778	98.4	61,636,126	89.2	9,927
台湾	75,906	1.2	5,836,188	8.4	76,887
その他	24,285	0.4	1,607,088	2.3	66,176
計	6,308,969	100.0	69,079,402	100.0	10,949

出典：財務省貿易統計(確々報値)、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会  
尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

引き続き「中華人民共和国」が最大の供給元となっている。総台数の98.4%、総CIF金額の89.2%を占めている。平均CIF単価は9,927円であった。これに次ぐのが「台湾」で、総台数の1.2%、総CIF金額の8.4%を占めている。平均CIF単価は76,887円である。これら2つの国・地域で総台数の99.6%、総CIF金額の97.7%を占めている。

「中華人民共和国」からの車種別輸入状況は表17のようになっている。

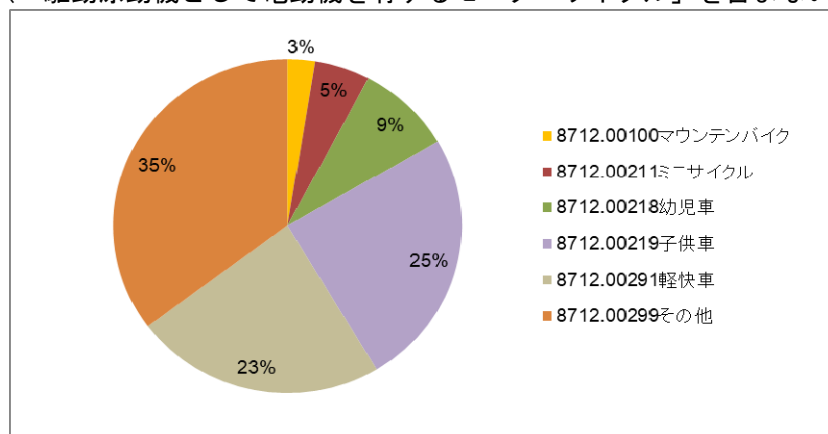
表 17 2020 年の我が国の「中華人民共和国」からの完成自転車輸入  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	159,576	2,432,173	15,241
8712.00211 ミニサイクル	317,174	3,515,881	11,085
8712.00218 幼児車	549,731	3,540,101	6,440
8712.00219 子供車	1,546,751	13,056,883	8,441
8712.00291 軽快車	1,446,710	13,732,142	9,492
8712.00299 その他	2,188,836	25,358,946	11,586
計	6,208,778	61,636,126	9,927

出典：財務省貿易統計(確々報値)、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 17 に示した 2020 年の「中華人民共和国」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図 O である。「その他」が 35% を占め、次いで「子供車」が 25% を占めている。「中華人民共和国」からの輸入台数が非常に多いため、我が国の全体の車種別輸入台数割合を示した図 H と似た状態が示されている。

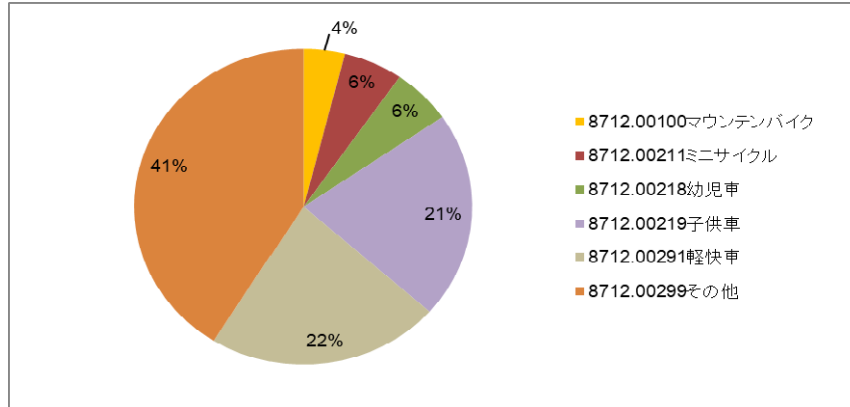
図 O 2020 年の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
 車種別台数割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

同様に表 17 に示した 2020 年の「中華人民共和国」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 P である。「その他」が 41% を占め、次いで「軽快車」が 22% を占めている。

図 P 2020年の我が国の「中華人民共和国」からの自転車輸入  
車種別 CIF 金額割合  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて「台湾」からの車種別輸入状況を示すと表18のようになっている。「台湾」からの輸入平均 CIF 単価は 76,887 円となっているが、この数値は「電動アシスト車」を含む我が国の自転車生産平均単価 70,885 円よりも高くなっている。

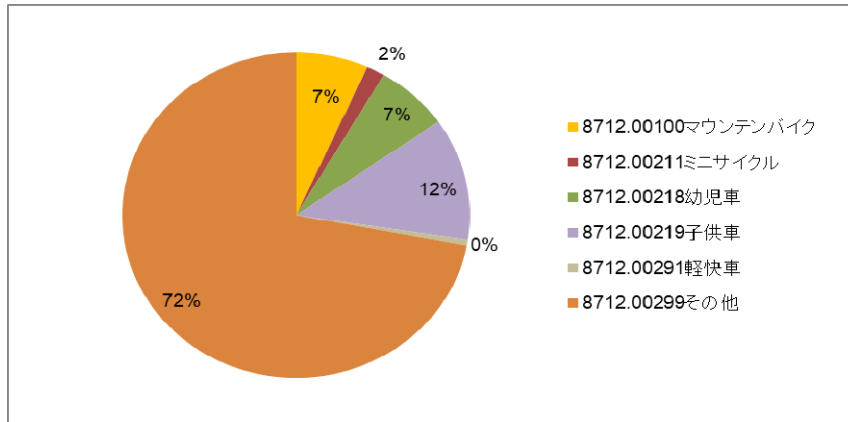
表 18 2020年の我が国の「台湾」からの完成自転車輸入  
(「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

関税番号及び車種	台数(台)	総 CIF 金額 (千円)	平均 CIF 単価 (円)
8712.00100 マウンテンバイク	5,108	181,811	35,593
8712.00211 ミニサイクル	1,291	54,786	42,437
8712.00218 幼児車	5,183	28,506	5,500
8712.00219 子供車	9,222	197,754	21,444
8712.00291 軽快車	431	22,378	51,921
8712.00299 その他	54,671	5,350,953	97,876
計	75,906	5,836,188	76,887

出典：財務省貿易統計(確々報値)、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表18に示した2020年の「台湾」からの自転車輸入について車種別の台数割合をグラフにより示したものが図Qである。全体の輸入状況を表した図Hや「中華人民共和国」からの輸入状況を示した図Oとは異なり、「その他」が72%と大きな割合を占め、次いで「子供車」が12%を占めている。一方で、「軽快車」はごく僅かを占めるにすぎない状況となっている。

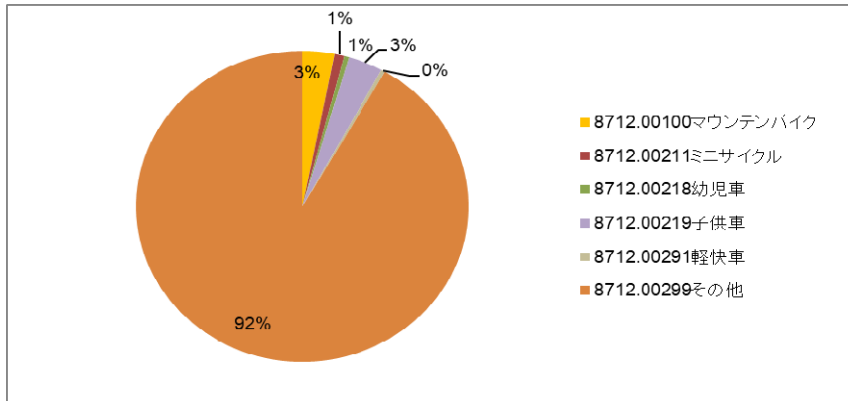
図 Q 2020 年の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別台数割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

更に表 18 に示した 2020 年の「台湾」からの自転車輸入について、車種別の金額割合をグラフにより示したものが図 R である。台数割合の場合より特徴が一層顕著に表れており「その他」が 92% を占めるに及んでいる。次いで「マウンテンバイク」と「子供車」が各々 3% を占め、「軽快車」はごく僅かである。

図 R 2020 年の我が国の「台湾」からの自転車輸入 車種別 CIF 金額割合  
 (「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：財務省貿易統計、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

続いて参考まで、2020 年の 2019 年と比較した、我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入に関し、その主要供給元を表 19 に示す。

表19 参考 2020年の我が国の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入 主要供給元 2019年との比較

供給元	台数	輸入総台数に占める割合(%)	CIF金額(千円)	輸入総金額に占める割合(%)	平均CIF単価(円)
2020年 中華人民共和国	483,033	98.1	17,083,591	91.3	35,367
2019年 中華人民共和国	377,081	98.3	13,234,416	94.1	35,097
変化	105,952	-0.2	3,849,175	-2.9	270
2020年 台湾	7,919	1.6	1,277,511	6.8	161,322
2019年 台湾	5,435	1.4	508,590	3.6	93,577
変化	2,484	0.2	768,921	3.2	67,745
2020年 その他	1,516	0.3	352,898	1.9	232,782
2019年 その他	1,079	0.3	315,493	2.2	292,394
変化	437	0.0	37,405	-0.4	-59,612
2020年 計	492,468	100.0	18,714,000	100.0	38,000
2019年 計	383,595	100.0	14,058,499	100.0	36,649
変化	108,873	0.0	4,655,501	0.0	1,351

出典：財務省貿易統計(2019年数値は確定値、2020年数値は確々報値)、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

#### 4. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。その「国内向け数量」について、過去15年間の推移を表20に示す。2020年の国内向け数量は7,177,558台で、過去15年間で13番目の数量となっている。また国内生産比率は12.1%であった。

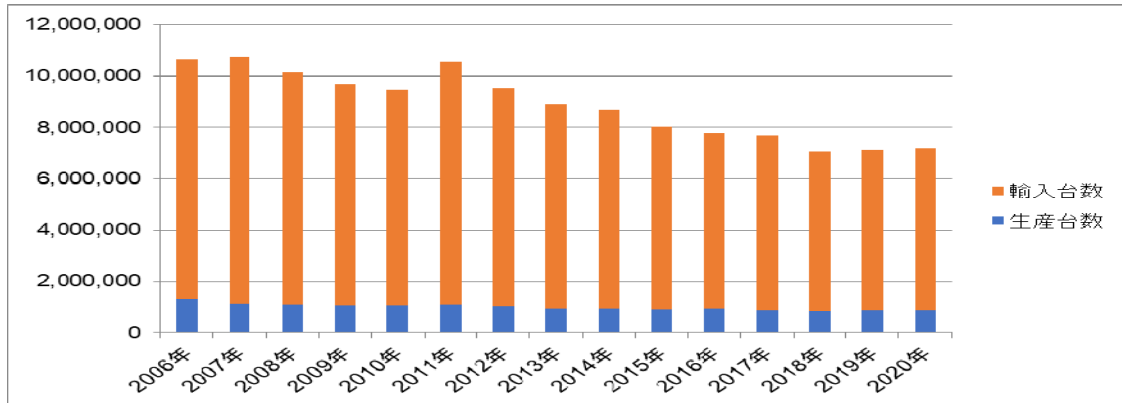
表20 我が国完成自転車の国内向け数量の過去15年間の推移  
(生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

年	生産台数	輸入台数	国内向け数量	国内生産の比率%
2020年	868,589	6,308,969	7,177,558	12.1
2019年	884,078	6,239,721	7,123,799	12.4
2018年	859,850	6,182,082	7,041,932	12.2
2017年	890,850	6,777,799	7,668,649	11.6
2016年	939,025	6,849,387	7,788,412	12.1
2015年	898,095	7,122,444	8,020,539	11.2
2014年	951,548	7,734,364	8,685,912	11.0
2013年	965,954	7,932,395	8,898,349	10.9
2012年	1,012,314	8,499,444	9,511,758	10.6
2011年	1,101,666	9,450,592	10,552,258	10.4
2010年	1,056,951	8,401,946	9,458,897	11.2
2009年	1,049,469	8,621,717	9,671,186	10.9
2008年	1,094,932	9,033,773	10,128,705	10.8
2007年	1,135,606	9,603,314	10,738,920	10.6
2006年	1,334,512	9,339,172	10,673,684	12.5

出典：経済産業省生産動態統計調査(確定値)、  
財務省貿易統計(2019年以前の数値は確定値、2020年数値は確々報値)、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

これらの模様をグラフにより示したものが図Sである。

図 S 我が国完成自転車の国内向け数量の過去 15 年間の推移  
 (生産台数には「電動アシスト車」を含み、  
 輸入台数には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)



出典：経済産業省生産動態統計調査、財務省貿易統計、  
 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

## 5. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。2020年の我が国自転車輸出の主な仕向け先を表 2 1 に示す。平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

表 2 1 2020 年 主要仕向け先別の我が国の完成自転車輸出

仕向け先国・地域	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
ガーナ	606,431	917,283	1,513
ミャンマー	427,464	594,102	1,390
イラク	418,524	767,655	1,834
フィリピン	295,327	518,694	1,756
カンボジア	284,911	662,396	2,325
タンザニア	243,228	391,666	1,610
アフガニスタン	197,211	317,764	1,611
アラブ首長国連邦	135,534	233,159	1,720
ナイジェリア	80,372	148,973	1,854
トルコ	46,419	81,375	1,753
その他	196,444	474,944	2,418
計	2,931,865	5,108,011	1,742

出典：財務省貿易統計(確々報値)、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

表 2 2 に 2006 年から 2020 年までの過去 15 年間の我が国自転車輸出の推移を示す。総台数は過去 15 年間で 9 番目、総金額は過去 15 年間で 6 番目となっている。2020 年の平均 FOB 単価は 1,742 円で、過去 15 年間で 2 番目となっている。

表 2 2 我が国自転車輸出の過去 15 年間の推移 全車種

年	総台数	総 FOB 金額 (千円)	平均 FOB 単価(円)
2020 年	2,931,865	5,108,011	1,742
2019 年	3,109,929	5,386,972	1,732
2018 年	3,068,426	5,164,377	1,683
2017 年	3,162,452	5,085,776	1,608
2016 年	3,160,819	5,389,032	1,705
2015 年	3,558,029	6,475,518	1,820
2014 年	3,301,196	5,128,410	1,554
2013 年	3,142,282	4,320,542	1,375
2012 年	2,980,626	3,863,945	1,296
2011 年	2,676,620	3,505,035	1,310
2010 年	2,393,342	3,180,711	1,329
2009 年	2,214,528	3,000,068	1,355
2008 年	2,283,080	3,772,868	1,653
2007 年	2,095,644	3,028,212	1,445
2006 年	1,340,136	1,467,329	1,095

出典：財務省貿易統計(2019 年以前の数値は確定値、2020 年数値は確々報値)、  
加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

以 上